

本学との学術交流協定締結校の紹介



サボア大学

(フランス共和国)

(The University of Savoie)

交流協定締結年月日：2000年3月24日 主管学部：工学部



▲工学部協定校訪問@大学のキャンパス



▲アヌシーの街並み



▲アヌシー湖

国際交流の特色(大学紹介)

- サボア大学は、1979年近隣の各種学校を統合創設された学生数11,500人の中規模の大学である。9学部と36の研究所からなる総合大学で、法学・経済学、文学・社会学から、工学・科学までの幅広い領域をカバーしている。
- 所在地は、フランスのローヌ地方の都市、隣接するシャンベリー市とアヌシー市に2つのキャンパスがあり、本部はシャンベリー市にある。2006年にサボア大学の2つの理工科学院が統合し、ポリテク・アヌシー・シャンベリーとなった。2000年4月に学術交流協定を締結以降、国際インターンシッププログラムを継続的に受入・派遣を行っており、相互に活発な交流が続いている。工学部においては、毎年夏に国際インターンシップ交流会を開催している。また、平成20年度は、工学部の第1回協定校訪問により、学生17名・教職員5名を派遣し交流を行った。



▲平成20年度国際インターンシップ学生たち@フランス



▲協定校訪問の様子



▲平成22年度国際インターンシップ交流会

交流実績(平成20年度～22年度)

国際インターンシップ学生の受入・派遣

年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
受入	3	5	2
派遣	3	1	0

教員からの声

サボア大学ポリテク・アヌシー・シャンベリーのPhilippe Bolon教授、Eric Benoit教授らと、2001年4月より新しいヒューマンインタフェース技術の開発に関して共同研究を進めています。2008年に、両研究室間を常時インターネット回線をつなぐテレビ会議システムを導入して以来、いつでも顔を見ながら研究の議論ができるようになりました。また本年度は、私の研究室に修士課程の学生を受入れ、次世代ヒューマンインタフェースシステムの構築に向けたマルチモーダル計測技術と情報統合技術に関する共同研究を進めています。ヨーロッパ随一の透明度を持つアヌシー湖を見下ろす高台から、真っ青な空とアルプスの雄大な景気を臨むキャンパスは、教職員にとっても学生にとっても、勉学と研究に最高の環境です。

工学部教授 澤田秀之

学生からの声

2009年9月より約4ヶ月間、LISTIC LaboratoryのEric Benoit教授のもとで国際インターンシップをおこないました。慣れない海外生活で大変なことも多くありましたが、教員・学生のみなさんに親切に対応していただき、大変充実した研修をおこなえました。研修する中で、フランス人のメリハリの効いた就業態度を知り、日本に帰ってきてからも、それを見習い研究に励んでいます。また、ヨーロッパ近隣諸国をはじめ、アジア・アフリカ各国からの留学生も在籍しており、世界各国の文化・習慣を身をもって体験することができました。サボア大学ポリテク・サボアの周辺には、アヌシー湖を中心に古い町並みが残されており、休日などには観光も楽しめます。初めての海外生活をおくる場所としては絶好の環境です。

工学研究科 宮本亮一

サボア大学

(The University of Savoie)

ホームページ <http://www.univ-savoie.fr/Portail>

●学生(学部・大学院)

11,500人

●留学生

1,500人

●教職員 1,000人